

令和7年 第3回

教育委員会定例会会議録

とき 令和7年4月22日

品川区教育委員会

令和7年第3回教育委員会定例会

日 時 令和7年4月22日(火) 開会：午後2時  
閉会：午後2時13分

場 所 教育委員室

出席委員 教 育 長 伊崎 みゆき  
教育長職務代理者 吉村 潔  
委 員 稲垣 百合恵  
委 員 濱松 誠  
委 員 吉原 幸子

出席理事者 教 育 次 長 米田 博  
庶 務 課 長 船木 秀樹  
学 務 課 長 石井 健太郎  
指 導 課 長 酒川 敬史  
教育総合支援センター長 丸谷 大輔  
教育施策推進担当課長 唐澤 好彦  
特別支援教育担当課長 新井 正康  
品川図書館長 三ッ橋 悦子  
学校施設担当課長 荒木 孝太  
統括指導主事 齊藤 隆光  
統括指導主事 石原 朋之

事務局職員 庶 務 係 長 安藤 尚之  
書 記 田島 希望  
書 記 羽田 優太

傍聴人数 なし

そ の 他 品川区教育委員会会議規則第14条の規定に基づき、会議の一部を  
非公開とした。

## 次第

- 報告事項 1 令和7年度 学級編制について
- 報告事項 2 教職員の任免等について（休職）
- 報告事項 3 事務局職員の任免等について（休職）

## 令和7年第3回教育委員会定例会

令和7年4月22日

【教育長】 ただいまから令和7年第3回教育委員会定例会を開会いたします。

署名委員に稲垣委員、吉原委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

初めに、会議の持ち方についてですが、日程第1、報告事項2、教職員の任免等について（休職）、日程第1、報告事項3、事務局職員の任免等について（休職）、本件は人事に関する案件ですので、品川区教育委員会会議規則第14条の規定に基づき、非公開の会議といたしますが、御異議ありませんか。

（「はい」の声あり）

【教育長】 異議なしと認め、本件については全ての日程の終了後に審議いたします。

それでは、本日の議題に入ります。

日程第1、報告事項1、令和7年度学級編制について、説明をお願いします。

学務課長。

【学務課長】 それでは、私から令和7年度学級編制について御説明を申し上げます。

本日、資料の差し替えが出てございます。恐れ入りますが、紙ベースにつきましては、枠囲みで「差替」と書いてございますものを御覧くださいませ。PDFにつきましては事前送付のものを御利用いただきますとともに、PDFにつきましては2ページ目からスタートいたしますので、よろしく御参照いただけたらと思います。

今回の学級編制につきましては、4月1日現在の暫定版でございますので、あらかじめ御了承いただけたらと存じます。学級編制に当たりましては、義務教育の全国的な水準の維持を目的として、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律によって定められてございます。令和3年度改正によりまして、順次、40人学級から35人学級へと引下げとなっております。品川区におきましては令和7年度から小学校の全ての学年で35人学級となっております。

それでは、資料の説明に入らせていただきます。まず、資料の小学校・義務教育学校（前期課程）の児童／学級数について御説明いたします。資料の構成につきましては、通し番号、学校名、児童数、学級数となっております。特別支援の欄につきましては、昨年度までの資料は固定級と通級を同じ欄で示しており、通級に関しては括弧というような形にしておりましたが、少し見やすくするために、まず固定級につきましては、あくまでも特別支援学級の固定級、知的障害ですとか自閉症、情緒障害、病弱の児童数を書いてございます。通級と書かれましたのは、特別支援教室及び特別支援学級の中でも言語障害・難聴通級指導学級の児童数を記載してございます。なお、参考までに、拠点校につきましては拠点というふうな形で、拠点の先生たちの見ている数を書かせていただいております。学級数につきましては、それぞれ特別支援学級の固定及び通級指導の学級数とさせていただきます。

それでは、普通教室の児童数等から御説明を申し上げます。まず、令和7年度普通児童数につきましては、1年生が2,935人で、昨年度と比べて増減なしでございます。児童

総数は1万7,756名で、昨年度と比べ116人の増でございます。普通教室の学級数は、新1年生が101学級、昨年度と比べて1学級の減でございます。普通教室の総数につきましては、全部で611学級で、昨年度と比べて13学級増でございます。特別支援児童数につきましては、固定級の児童数は258名で、昨年度と比べて32名の増でございます。通級の児童数は696名で、昨年度と比べて4名の増でございます。続きまして、特別支援の学級数ですが、固定級の学級数は37学級で、昨年度と比べて4学級の増でございます。通級の学級数は8学級で、昨年度と同数でございます。

なお、学級編制の弾力化ということで、今年度も9番目の第四日野小学校の、こちら、表中、ピンクで網かけてございますけれども、1年生66名に対して、通常、35人学級ですと2学級となるところですが、配慮が必要な児童が一定数いるということで、きめ細やかな指導を行うために3学級として編制してございます。

小学校・義務教育学校（前期）については以上でございます。

続きまして、紙刷りの資料は裏面を御覧ください。PDFにつきましては、3ページ目になってございます。中学校の御説明をさせていただきます。中学校は法的には40人学級でございますけれども、東京都の基準で、7年生につきましては35人学級の対応が必要となっております。このため、後ほど御説明いたしますけれども、学級数の増もしくは教員の加配措置という形で担保されてございます。

まず、普通学級在籍の新7年生につきましては1,705名でございまして、前年度比44名の増。普通教室在籍の生徒数の合計ですが、5,077名となっております。昨年度と比べて31名の増でございます。普通教室の学級数でございますけれども、7年生は53学級で、昨年度と比べて1学級の増。教室の合計は151学級で、昨年度と比べて2学級減でございます。特別支援の児童数でございますけれども、固定級の生徒数は170名でございまして、昨年度と比べて2名の増、通級の生徒数につきましては126名でございまして、昨年度と比べて4名増でございます。特別支援の学級数でございますけれども、固定の学級数は27でございまして、前年度と比べて1学級の増でございます。通級の学級数は1学級で、昨年度と同数でございます。

なお、先ほど申し上げました35名学級対応でございますけれども、1番の東海中、12番の八潮学園につきましては学級数の増で対応しておりまして、13番の荏原平塚学園、15番の豊葉の杜学園につきましては教員の加配を選択するという形でございます。

以上が令和4年4月1日の状況でございまして、正式な令和7年度の児童生徒数及び学級数につきましては、今後、文部科学省の学校基本調査の基準日である5月1日現在の数字で確定する見込みでございます。

私からの説明は以上でございます。

**【教育長】** 説明が終わりました。質疑はございますか。

吉村職務代理者。

**【吉村教育長職務代理者】** ありがとうございます。2つ教えてください。

1つは特別支援の拠点の数なんですけど、例えば小学校の浅間台、拠点49というのは、浅間台を拠点校としたグループの特別支援教室を利用する子供の数と、そういう読み方でよろしいのでしょうか。まず1個目の質問。

2つ目は、個々に多分学級増になった学校で、例えば教室がもう普通教室が足りなくて、

今まで特別教室等で使っていたところを転用したとか、何かそういう学校はあるんでしょうか。

この2つを教えてください。

【教育長】 学務課長。

【学務課長】 まず、拠点の数でございます。先ほど委員おっしゃいますとおり、浅間台でございましたら、浅間台、城南、山中といった形で、それぞれ拠点校の持っている3校の合計数が浅間台のところに49という形で計上されているものでございます。

続きまして、教室数なんですけれども、転用とか細かい数字についてはまだ把握はしていないんですけれども、例えば昨年度、城南ですとか、あと第三日野ですとか、適宜、教室、学級数が増えると見込まれているところにつきましては工事を行った上で、普通教室の増に努めているところでございます。

【教育長】 吉村職務代理者。

【吉村教育長職務代理者】 ありがとうございます。そうすると、1点目のことについては、合計を見ると、ほぼ去年並みということなので、今、特別支援教室を利用している児童・生徒がどこでも増えているということですけど、品川の場合はほぼ昨年度と同等の人数だったということですね。これ、ずっと多分増えてきたと思うんですけど、これはある程度一定になったという読み方ができるのかなと思います。

それから、教室の転用の話なんですけど、やむなくそれは転用、例えば今まで特別教室で使っていたところを若干の改修したりするということはあると思うんですけど、教育環境ということだと、特別教室は特別教室として利用しなければいけない部分があるので、その辺はできるだけ通常の。特別教室も必要なわけなので、できるだけ教育活動に支障のない範囲でお考えいただく。これは学務だけの話じゃないのかもしれませんが、お考えいただくといいのかなと思いました。

以上です。

【教育長】 ほかにございますか。よろしいですか。

では、令和7年度学級編制については、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【教育長】 特になければ、本件は了承します。

続いて非公開の会議を開きます。

— 了 —